

鬼	北上市立	館
だ	の	り
第9号		



### いいでしょう？ぼくのわたしの剣舞面

夏休みの子ども会活動として、盛岡の長田町第2子ども会のみなさんが和紙面の色づけに挑戦しました。まゆやひげを勢いよく書いて、目玉に金色を入れて完成です。なかなかのできばえにニコリ。

全国に向けて情報発信

## “マルチメディア鬼百科” いよいよ完成！

（株）北上オフィスプラザが制作をすすめてきた「マルチメディア鬼百科」が完成へむけて最後の仕上げに入っています。

「マルチメディア鬼百科」は、通産省が（財）マルチメディアコンテンツ振興協会を通して平成9年度初めて実施した、「マルチメディアコンテンツ制作支援事業」に採択され、制作されました。このマルチメディアコンテンツ制作支援事業は、優れたアイデアや技能を持ちながら、資金不足などによってコンテンツの制作に恵まれないベンチャ

一企業や中小企業に制作支援を行い、わが国におけるマルチメディアコンテンツ産業の活性化を図るものです。

「マルチメディア鬼百科」は、北上オフィスプラザ（社長・高橋盛吉北上市長）が制作、「闇に潜む超越的な力の象徴である鬼の原像を探る」をサブタイトルとして全国レベルで「鬼」の全容をまとめ、CD-ROM化した、いわば鬼の百科辞典です。内容は、「鬼曼荼羅」「鬼百物語」「鬼の原像」の3つのコーナーからなり、600画面を超える鬼関連の画像を収録しています。いずれの画面とも、CG（コンピュータグラフィックス）を駆使した迫力のある画面で、日本各地の鬼の資料を居ながらにしてリアルな映像で観賞できるのが特徴です。

「マルチメディア鬼百科」の制作にあたっては、門屋光昭北上市立鬼の館館長・盛岡大学教授を監修者とし、北上市立鬼の館が資料提供や原稿執筆などに協力をしています。

## 鬼百科 闇に潜む超越的な力の象徴である鬼の原像を探る

日本全国レベルで「鬼」の全容をまとめ、  
CD-ROM化したマルチメディア作品。



ネット公開可能な、HTML化により  
様々なプラットフォームに対応。  
(Windows95/98/NT, Mac OS, など)

鬼百科は、古来から全国各地の祭りや行事に登場し、今も人々の心の中に存在する「鬼」を多角的・立体的に知らしめるものです。

作品の訴求ポイントは2つあります。

- ・恐ろしい厄災をもたらすのではなく、人々の幸福をもたらす愛すべき優しい鬼が存在すること。
- ・テクノロジーが進歩した現代で、迷信や言い伝えという古の文化や社会模範ともいうべきものが忘却され、得地の知れない恐ろしい物、厳しい物、畏怖の念を抱くべき対象としての「鬼」の存在が必要であること。

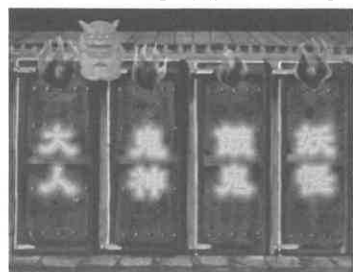
「鬼百科」は、「鬼曼荼羅」、「鬼百物語」、  
「鬼の原像」の3つのコーナーからなり、  
**600画面を越える**鬼関連の画像を収録。

株式会社 北上オフィスプラザ

鬼曼荼羅

鬼の原像をさぐるためのバーチャルな空間に誘うコーナー

「大人（オオヒト）」「鬼神」「餓鬼」「妖怪」という4つに鬼を分類し、鬼たちの叫びなど音と映像で鬼の姿を浮き彫りにします。このコーナーでは、VRML技術を使った「鬼の迷宮」という隠れている鬼を探しながら脱出する迷宮があり、楽しみながら鬼についての理解を深めることができます。



鬼曼荼羅の入り口の鬼門

鬼百物語

妖怪百物語にあやかり、鬼に関する百の疑問に答えるコーナー

素朴な疑問から、鬼についての造詣を深めるためのいわば入門モードです。

解説画面は、簡単な文章で表現され、関連項目ボタンにより「鬼の原像」コーナーの解説項目へハイパーリンクする構造で結ばれています。



鬼の嫌いなもの

目的を持って鬼について知りたい時に、手軽に検索できる目的別利用モード

11のカテゴリーに分類された項目に鬼についてより深く探ります。

鬼の祭り



鬼の美術



鬼の原像

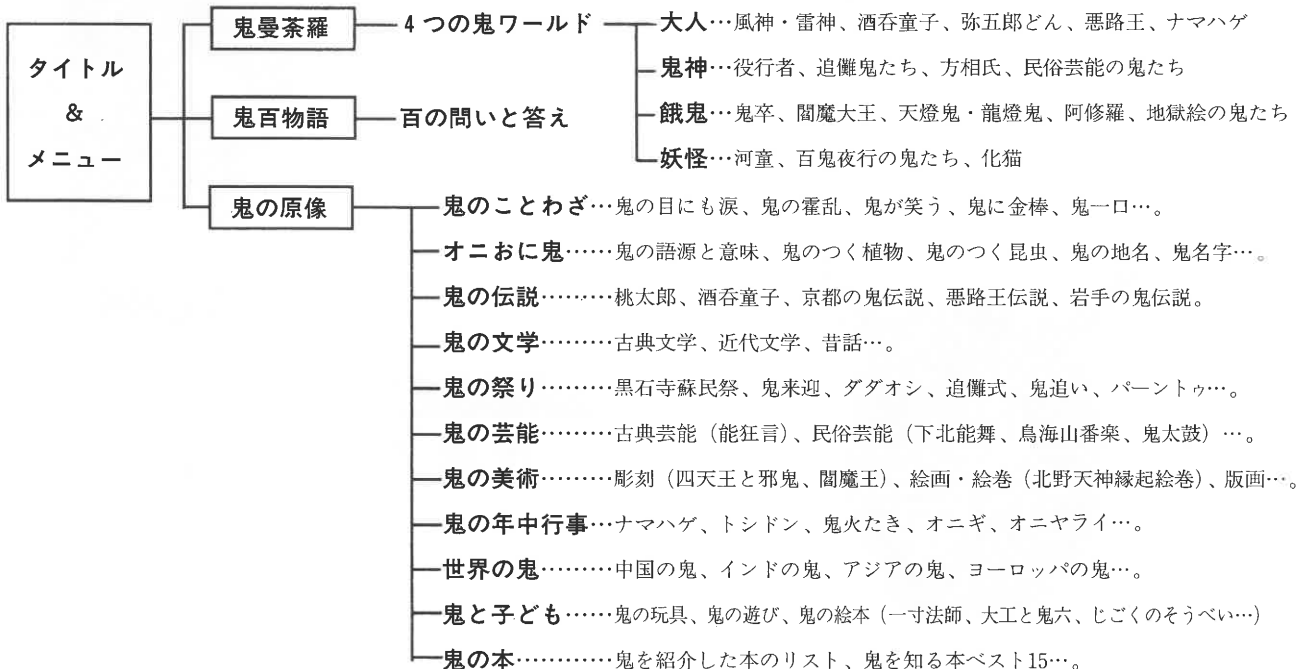
鬼のことわざ



鬼の名の付く植物



鬼百科の内容



# 利根山光人 と メキシコの仮面



利根山光人はメキシコを描いた画家として広く知られています。

利根山さんと北上との結び付きは、昭和47年、岩手県芸術祭の審査のために来県した帰り鬼剣舞や鹿踊を見て感動したことに始まります。

まもなく展勝地にアトリエを建て、亡くなるまでの20数年間をここで制作を続けられました。

没後、アトリエは北上市に寄付され、利根山光人記念館として公開、いつでも作品にふれることができるようになりました。

利根山さんは、1995年に東京国立博物館で開かれた「メキシコ美術展」を見て感動し、幾度となくメキシコを訪れ、古代文明と近代文明の狭間にしっかりと根を張った民衆の情熱的な息遣いを感じながら作品を制作されてきました。



メキシコでの利根山さんは、各地の古代遺跡を訪ねる他に、田舎町のおまつりにも時々出かけていたようです。そこは、著書『メヒコ・マヒコ』

によれば、「素朴な人間感情が石ころのように転がっており、中世が今なお生きている」ところでした。そんな人々が祭りで使う仮面を譲り受けたものが、利根山さんのメキシコ仮面のコレクションです。仮面は、日本に持ち帰られてからも、利根山さんの手元に置かれ、メキシコのオーラを発し続けていたのでしょう。水牛の角をもつ大きな緑色の仮面は、利根山さんが初期のメキシコ訪問で手に入れ、「アトリエの守護神」として利根山さんが特に愛着をもっていた仮面で、夫人の弥恵子にとっても思いで深い一品だそうです。

コレクション資料には、収集者の好みや興味が色濃く反映しています。利根山コレクションの場合も

利根山光人のメキシコへの思いや記憶が凝縮されていると言え、作家の精神性をも垣間見ることができる好資料です。

鬼の館では、これらの仮面を大切にお預かりするとともに、「世界の鬼たち」と題する企画展で随時公開してゆく予定です。



コレクション展

## 世界の鬼たち展

11月10日～3月8日

～利根山コレクションと力丸コレクションから～

# NEWS

鬼の館を会場に第16回東北地区民俗学合同研究会

## 研究発表とシンポジウム「東北の鬼」

6月7日、東北地方の民俗学研究者が鬼の館に集まり、「鬼」をテーマにして語り合いました。この研究会は、東北各県の民俗学会が持ち回りで開催してきたもので、今回で16回目となります。会場には、各県の研究者だけではなく、鬼学講座の受講生や一般からの参加もあり、用意した60席が満席となる盛況ぶりでした。午前の研究発表では、安藤耕己盛岡商業高校教諭が「戦後青年会活動と青年の志向」、鈴木明美当館主任学芸員が「冥界」と題して発表、午後は、当館の門屋光昭館長をコーディネーターに、大湯卓二氏（青森県）、斎藤壽胤氏（秋田県）、小野寺正人氏（宮城県）、佐治靖氏（福島県）の4氏をパネリストとして鬼の諸相を探る議論が展開されました。

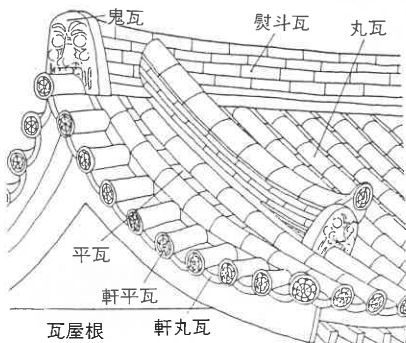
## 平安中期の鬼瓦出土

北上国見山廃寺跡

北上市稲瀬町の国見山廃寺跡の発掘調査を行っていた北上市立埋蔵文化財センターは、この遺跡の中心的な建物と見られる七間堂跡の盛土から岩手県内からははじめての平安時代中期（10世紀ごろ）の鬼瓦が見つかったと9月4日発表しました。国見山廃寺跡は、昭和38年から発掘調査が行われ、これまでに平安時代の山岳寺院であることがわかっています。また、この寺院は、「陸奥国極楽寺」ではないかとも指摘されています。

出土した鬼瓦は、縦37センチ、横40センチ、厚さ5センチ。型ではなく手で粘土を盛り上げて鬼の顔を作っているのが特徴です。

この時代、屋根に鬼瓦をふくのは、特別な建物に限られていて、この時代でこれと似たものは、東北地方では宮城県の多賀城から出土した1例があるだけで、お寺の規模も大きいことから平泉以前の仏教文化を知る上で貴重な資料として注目を集めています。



## できごと Oni Museum

～新聞の見出しより～

### ふるさと情報広くPR

北上、湯田、沢内の三市町村発信施設を設置～文化、催し多彩に

[岩手日報10/4/3]

地獄を紹介する「冥界」北上市立鬼の館10粘土事業決める

[岩手日日10/4/5]

厄除けや儀礼面 鬼の姿を探る 新収集資料展

[岩手日日10/4/6]

車いす来館者へ朗報「鬼の館」にスロープ

[岩手日日10/4/10]

鬼剣舞を中心に 鬼の館芸能公演

[岩手日日10/4/21]

勇壮に芸能公演開幕 地元・岩崎鬼剣舞が披露 来館者心躍らす

[岩手日日10/4/27]

鬼の姿、自由に描く「こどもの日」イベント 家族連れでにぎわう

[岩手日日10/5/7]

鬼っ子わんぱく講座 鬼瓦づくり体験

[岩手日日10/5/9]

鬼の館で特別展「世界の鬼たち」仮面90点を展示

[岩手日日10/5/13]

脚光を浴びる「鬼の館」9年度の実績 3万8000人余が入館

[岩手日日10/5/30]

岩手民俗の会「東北の鬼」テーマに北上で合同研究会

[岩手日日10/6/8]

東北地方民俗学合同研究会 鬼の諸相を探る

[岩手日報10/6/10]

伝統の舞 存分に堪能 大乘神楽大会 10団体が18演目を披露

[岩手日日10/6/16]

「鬼学講座」が開講 今年度は47人受講

[岩手日日10/6/23]

独自の鬼の世界を醸す 栃久保氏が作品展

岩手・北上市 鬼MANDARA

[東愛知新聞10/7/12]

「鬼MANDARA」企画展 画家栃久保操氏 51点の作品を展

[岩手日日10/7/13]

独自手法で「鬼」表現 北上で企画展

[岩手日報10/8/1]

「おにの絵万燈」を制作実演 企画展で栃久保氏 来館者の指導も

[岩手日日10/8/12]

創作への情熱語る 鬼MANDARA 栃久保氏が講演

[岩手日日10/8/14]

貴重な夏休みの思い出に 鬼っこわんぱく講座 民俗村に宿泊交流を深め合う

[岩手日日10/8/19]

鹿踊りと剣舞を披露 (菅窪鹿踊・剣舞)

[岩手日日10/8/20]

中米の仮面60点余を展示 鬼の館で特別展 画家利根山氏が収集

[岩手日日10/9/2]

楽しく鬼の張り子面作り 児童21人でわんぱく講座

[岩手日日10/9/11]

## 鬼学ノート

## 牛鬼のふるさとを訪ねて

鈴木 幸夫

かねてより、当館に展示している「牛鬼」の祭りをいつか観たいものだと思っていたら、その機会を突然得、7月22日から24日まで、四国宇和島市へお邪魔した。

宇和島市は予讃線の終着駅で、四万十川へ向かう予土線の起点である。あの「鉄道唱歌」の作詞者大和田建樹は宇和島出身だそうである。駅前広場にその詩碑もあり、ヤシの並木が特徴的であった。

東北と縁があり、宇和島に本格的な城下町を築いたのは伊達政宗の長子秀宗で、仙台の親類にあたる伊達藩だった。

郷土料理は鯛めし・鯛めん・ふくめん・さつま揚げ（じゃこ天）などの海の幸で、美味しい！

ほかには「闘牛」も名物で、山の上に市営闘牛場があり、ペゴの土俵入りがあり、番付もあった。昔は闘牛を飼うのが、宇和島男の生きがいであり、ステータスなのだそう。しかし、年々そういうオーナーが減少して闘牛のペゴも少なくなっており、観客はほとんどが観光客になっているとのことであった。

さて、北上市には毎年8月に行われる「みちのく芸能まつり」がある。

この東北の総合民俗芸能大会に参加する東北の民俗芸能団体数は約130団体、人数にすれば約2500人という規模である。さほど大きくない市のあちこちで、同時に競演するから迫力もので、お客様には自慢の祭りであった。が、しかしである。宇和島の「牛鬼まつり」を観て、目から鱗状態になってしまったのである。

全く「牛鬼まつり」は感動ものでした。牛鬼パレード参加の牛鬼（山車）は20余台、それが順序に待機所から威勢よく出発していき、単独、ときには複数で、ぶつかり、回転し、それはそれは熱気の凄いこと。特に圧巻なのは24日のフィナーレ



である。日中は町中を練り歩いた牛鬼（山車）が、夕方に和霊神社の大きな石鳥居をくぐり、太鼓橋を渡り、山の斜面の社殿に帰る（和霊神社は海の守り神）。夜は門前の川に御輿をかつぎ込む「走り込み」で、川の中央に立てた長さ25m位の大きな竹の上部にくくり付けてある御幣を選ばれた屈強な若者1名が登って取ってくるのだが、何せ、川の中で濡れた身体だから大変なわけで、去年は取れなかったせいか声援やら歓声やら悲鳴やらの凄いこと。

参加している者、観ている者、皆感動するいい祭りでした。

ちなみに「牛鬼」は何なのかお聞きしたところ、よく分からないが御輿の露払い的なもので、御輿の進路を清めて歩くのだということでした。そう言えば権現様によく似てる。

番外編で松山・道後温泉へ足をのびした。夏目



漱石の「坊っちゃん」の舞台であり、俳人・正岡子規の出身地として知られる松山。松山といえば道後温泉というわけである。

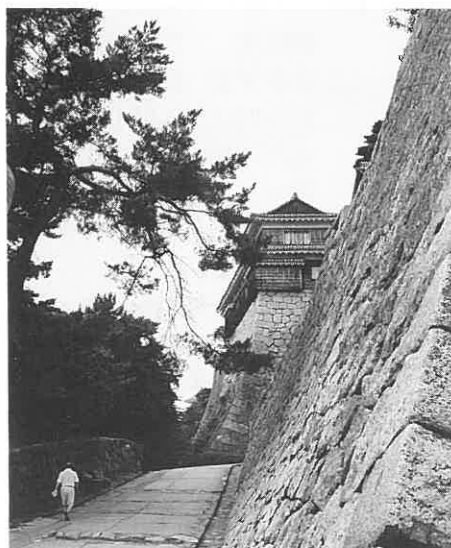
まずは松山駅からチンチン電車に乗って、子規記念館へ行ったら改修工事のため閉まっていた。最初からつまづいてしまったが、気を取り直して石手寺へ向かうことにした。途中、義安寺の鬼瓦を観て、暑いので閑古堂という喫茶店で一服し、アイスカフェオレが美味しかったのでお代わりをいただいてから石手寺へ。程なく着いて国宝の仁王門、重文の本堂・三重塔など見て歩き、石手寺を後にした。

石手寺の次は道後温泉へ向かう。道後温泉の入り口では、坊っちゃんカラクリ時計の歓迎をうけ、温泉には目もくれず、私を待つ道後ビールへまっしぐら。美味しい地ビールをいただきながら昼食を取り、道後を後にした。

その後、松山城に行き揺れるロープウェイに少し大騒ぎしながら天守閣へ登り、大正ロマンの萬翠荘・愚陀仏庵をまわり、子規堂で坊っちゃん列車を観て安心して帰路についた。

最後に私の収穫は、実際の「牛鬼まつり」を観たことでしょう。本物に接したこと。それから、いつか北上の芸能まつりがもっと楽しい祭りになるように、宇和島の「牛鬼まつり」の熱気・狂気を持ち込めたなと思っています。

(すずき ゆきお 北上市立鬼の館主任)



## 鬼の里だより

平成10年4月～9月

- 4月26日(日) 鬼の館芸能公演・岩崎鬼剣舞
- 5月5日(日) 鬼の館芸能公演・岩崎鬼剣舞／子どもの日わくわくイベント（鬼っこわんぱく講座）
- 5月6日(月)～8日(水) 常設展示室保守点検
- 5月12日(火)～6月30日(火) 特別展・世界の鬼たち
- 5月24日(日) 鬼の館芸能公演・飯豊鬼剣舞
- 6月7日(日) 第16回東北地区民俗学合同研究会
- 6月14日(日) 第5回大乘神楽大会
- 6月21日(日) 鬼学講座・力丸光雄先生
- 6月28日(日) 鬼の館芸能公演・御免町鬼剣舞
- 7月5日(日) 鬼っこわんぱく講座

- 7月12日(日)～8月23日(日) 第8回企画展「栃久保操の鬼MANDARA」
- 7月14日(火)～7月19日(日) 博物館実習生の受け入れ
- 7月19日(日) 鬼学講座・常光徹先生
- 7月26日(日) 鬼の館芸能公演・滑田鬼剣舞
- 8月7日(金)～9日(日) 北上みちのく芸能まつり
- 8月9日(日) 鬼っこわんぱく講座
- 8月15日(土) 鬼の館芸能公演・菅の窪鹿踊・剣舞
- 8月23日(日) 鬼の館芸能公演・二子鬼剣舞
- 9月6日(日) 鬼っこわんぱく講座
- 9月13日(日) 鬼学講座・門屋光昭館長
- 9月27日(日) 鬼の館芸能公演・鬼柳鬼剣舞

## 利用案内

**開館時間** 午前9時から午後5時まで。  
なお、入館は午後4時30分まで。

- 休館日**
- ・月曜日(国民の祝日の場合は開館)
  - ・国民の祝日の翌日(土・日・月曜日の場合は開館)
  - ・上記開館の振替日
  - ・12月28日～1月4日まで
  - ・館内整理日(11月27日～30日)

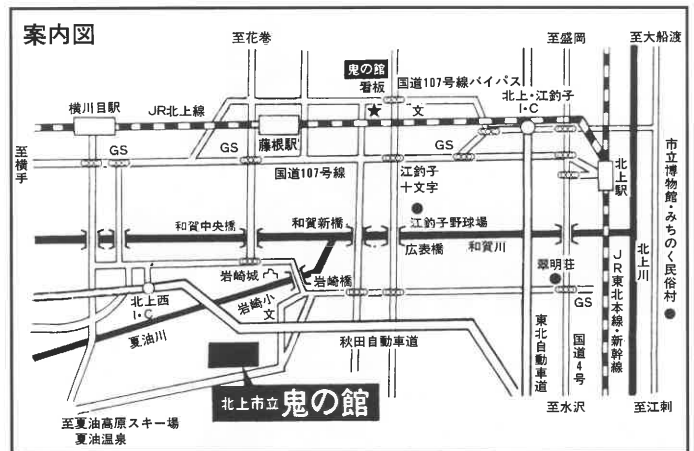
**入館料**

一般	300円(250円)
高校生	200円(150円)
小中学生	150円(100円)

( )内は20人以上の団体料金。

市内の学校の児童生徒が学習活動で申請により利用するとき、毎月第2・4土曜日に利用するときに入館料が免除になります。

- 交通案内**
- ・JR北上駅西口よりバスで25分。煤孫經由横川目行、瀬美温泉行「岩崎橋」下車徒歩10分。夏油温泉行(季節営業-5月～10月)「鬼の館前」下車。
  - ・JR北上駅より車で20分。東北自動車道北上江釣子I・C、秋田自動車道北上西I・Cからともに車で15分。



## 北上市立鬼の館だより

第9号 1998.9.30

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地  
TEL 0197 (73) 8488 FAX 0197 (73) 8508